

大学教育再生加速プログラム(AP) 中間評価結果

整理番号	60	大学等名	茨城大学
テーマ	テーマV 卒業時における質保証の取組の強化		

【総括評価】

S：計画を超えた取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を十分に達成することが期待できる。

【コメント】

<優れている点>

- ・本事業を茨城大学の第3期中期目標である「茨城大学型基盤学力の育成」と連動させ、4階層質保証システム（教員、学科等、学部、全学）を構築して総合的な質保証モデルを目指しており、その成果が期待できる。また、大学のIR機能を充実させ、本事業を中核として教員のFD教育プログラムの組織的整備を行い、学生の入学から卒業まで、更には卒業後までの質保証が総合的に行われていることは評価できる。
- ・ディプロマ・ポリシー（DP）を明確にし、それに連動させてカリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを整備するとともに、授業科目とDP要素の関係付けを行うという体系的な教育方法がとられていること、また、DP要素の学生による評価、社会、企業による評価を実施して、今後の見通しを立てていることは評価できる。
- ・学長のリーダーシップの下、学内の実施体制は適切に構築されている。また、教員から全学への4階層質保証システムは全学的な一体化にとって有益である。評価体制も適切であり、さらに、エビデンスを基にしたPDCAサイクルも整えられていることから評価できる。
- ・今後の事業実施計画においては、3つのポリシーに基づく教育活動、卒業段階の学生の力の評価、学修成果の社会への提示方法、卒業生や社会を含んだ多様な外部評価・助言の仕組みなど、効果的な取組が講じられていることは評価できる。体制的な継続性及び資金的継続性についても、問題は見受けられない。
- ・事業成果の普及については、大学改革支援・学位授与機構の「教育の内部質保証システムに関するガイドライン」（平成29年3月）の策定に寄与している。また、多くのシンポジウムやセミナーを開催して質保証システムの紹介・発表を行っており、波及効果は大いに認められることから評価できる。